

News Release

報道関係各位

2014年12月17日

株式会社ゼンリン

株式会社ゼンリンデータコム

**安全、安心で快適なドライブを支援する情報配信実験を実施
2014年12月17日(水)から阪神高速道路で開始
～実験モニターを募集～**

株式会社ゼンリン(本社:福岡県北九州市、代表取締役社長:高山善司 以下ゼンリン)と株式会社ゼンリンデータコム(本社:東京都港区、代表取締役社長:清水辰彦 以下ゼンリンデータコム)は、国土交通省国土技術政策総合研究所、株式会社ナビタイムジャパン(以下ナビタイム)、一般財団法人日本デジタル道路地図協会、阪神高速道路株式会社、本田技研工業株式会社(50音順)とともに、2014年12月17日(水)から2015年3月2日(月)まで、阪神高速道路にて「安全、安心で快適なドライブを支援する情報配信実験(プロジェクト名:Project Z NAVI de HANSHIN!)」を実施します。本実験を通じ、ドライバーに向けた阪神高速道路に関する情報配信の効果、「道路の区間 ID 方式^(※)」の利用による情報流通の効果を検証します。また、本実験にご協力いただける参加者(実験モニター)を随時募集します。

※道路の区間 ID 方式:位置情報の送り手と受け手の地図が違う場合、誤差が発生することがあったが、交差点などの「参照点」と、その間の道路「区間」に ID を付与することで相対的な位置情報を表現することが可能な手法。

「Project Z NAVI de HANSHIN!」は、ドライバーの安全、安心で快適なドライブを支援するための情報をわかりやすく配信する取り組みです。区間 ID 方式で配信される阪神高速道路に関する「交通事故多発地点情報」、「分合流部における安全運転に関する情報」および一週間先までの「工事予定情報」の3種類の情報を、ゼンリンデータコム、及びナビタイムが用意する実験特設サービスにて提供します。

ゼンリンデータコムは、特設サイト「いつも NAVI ラボ Project Z NAVI de HANSHIN!」にて「交通事故多発地点情報」、および「工事予定情報」について、地図上にその区間と内容を表示するサービスを提供します。時間帯を指定して表示することも可能なので、阪神高速道路をドライブする前の計画づくりに活用できます。

ゼンリンは、「道路の区間 ID 方式」に対応した地図データをゼンリンデータコムに提供しています(情報の流れと各社の役割は別添資料参照)。

■実験モニター募集

本実験にご協力いただける参加者(実験モニター)を随時募集します。本サービスは無償です。実験にご協力いただける方は、下記、本実験案内ホームページから手順をご確認の上、ご参加ください。

■本実験案内ホームページ(URL)

<http://navi-de-hanshin.jp>

■実験概要

実験概要	
実験実施期間	2014年12月17日(水)～2015年3月2日(月)(予定)
実施エリア	阪神高速道路管内 全線
配信する情報	<ul style="list-style-type: none"> ●交通事故多発地点情報 ●分合流部における安全運転に関する情報 ●工事予定情報
配信方法	Web サイトにて情報配信を行います。
<特設 Web サイト>	<ul style="list-style-type: none"> ●参加条件 実験期間中に阪神高速道路をご利用になる予定で、実走後アンケートにご協力いただける方 ●参加費用 無償(ただし、特設 Web サイトをご覧いただくためのパソコン、インターネット回線の契約費用、パケット通信などの費用は各自負担※) ●参加方法 以下の URL から特設 Web サイトにアクセスしてください。 http://lab.its-mo.com/hanshin/ 実走後は、特設 Web サイト上からアンケートページにアクセスして、設問回答をお願いします。 ※参加にあたっての登録などは不要です。

※パソコンからインターネットに接続するためのインターネットプロバイダとの契約料金や通信料金、携帯電話からアクセスされた場合の契約費用やパケット通信料金などの費用は、ご本人様の負担となります。

■特設サイト「いつもNAVI ラボ Project Z NAVI de HANSHIN!」について

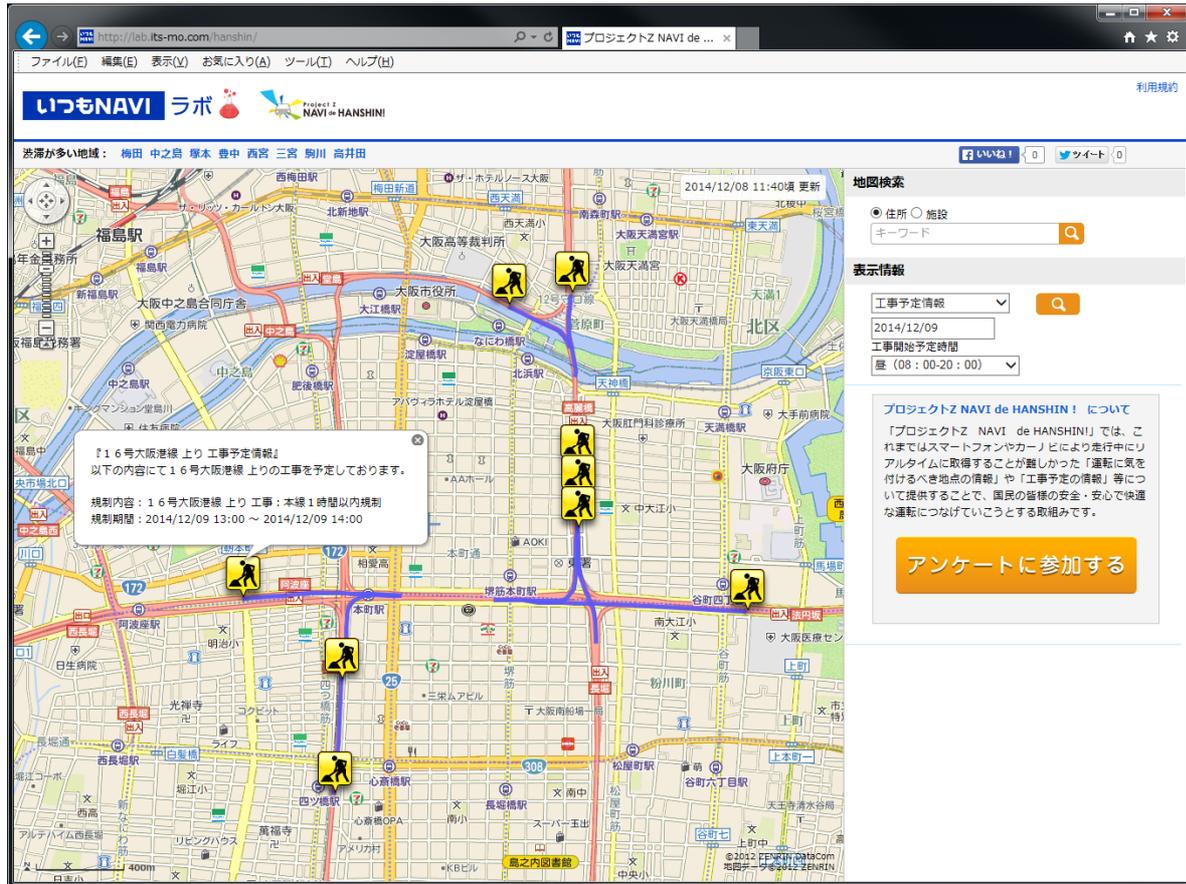
(1)事故多発地点の表示イメージ(分合流部における安全運転に関する情報を含む)

The screenshot shows a web browser displaying the 'いつもNAVI ラボ Project Z NAVI de HANSHIN!' website. The main content is a map of the Hanshin Expressway area, with several yellow icons indicating accident hotspots. A pop-up window is open over one of these hotspots, providing the following information:

1号環状線
事故多発地点 <車両接触に注意>
この合流では、車両士の接触事故が多発しています。
合流後も車線移行が連続するため、十分注意して走行しましょう。

The website interface includes a search bar, a navigation menu, and a sidebar with a '表示情報' (Display Information) section. A prominent orange button labeled 'アンケートに参加する' (Participate in Survey) is visible in the bottom right corner.

(2) 工事予定情報の表示イメージ



■ 別添資料

別添資料：情報配信実験の概要(実験目的、実施体制、平成26年度の情報配信の仕組み、道路の区間ID方式とは)

実験目的

- 安全・安心で快適な走行支援に関する情報をスマートフォン向けのアプリケーションやWebサイトなどに配信し、その効果を確認する。
- 「道路の区間ID方式」等を用いた上記情報の配信による各主体の様々なサービスの高度化や同方式による情報配信・重ね合わせの実現可能性などの確認する。

実施体制

- 情報ソースの配信、情報基盤の開発・配信、地図調製・利用者への情報配信に係わる計7社により実施する。

【情報ソースの配信】



【情報基盤の開発・配信】



【地図調製・利用者への情報配信】

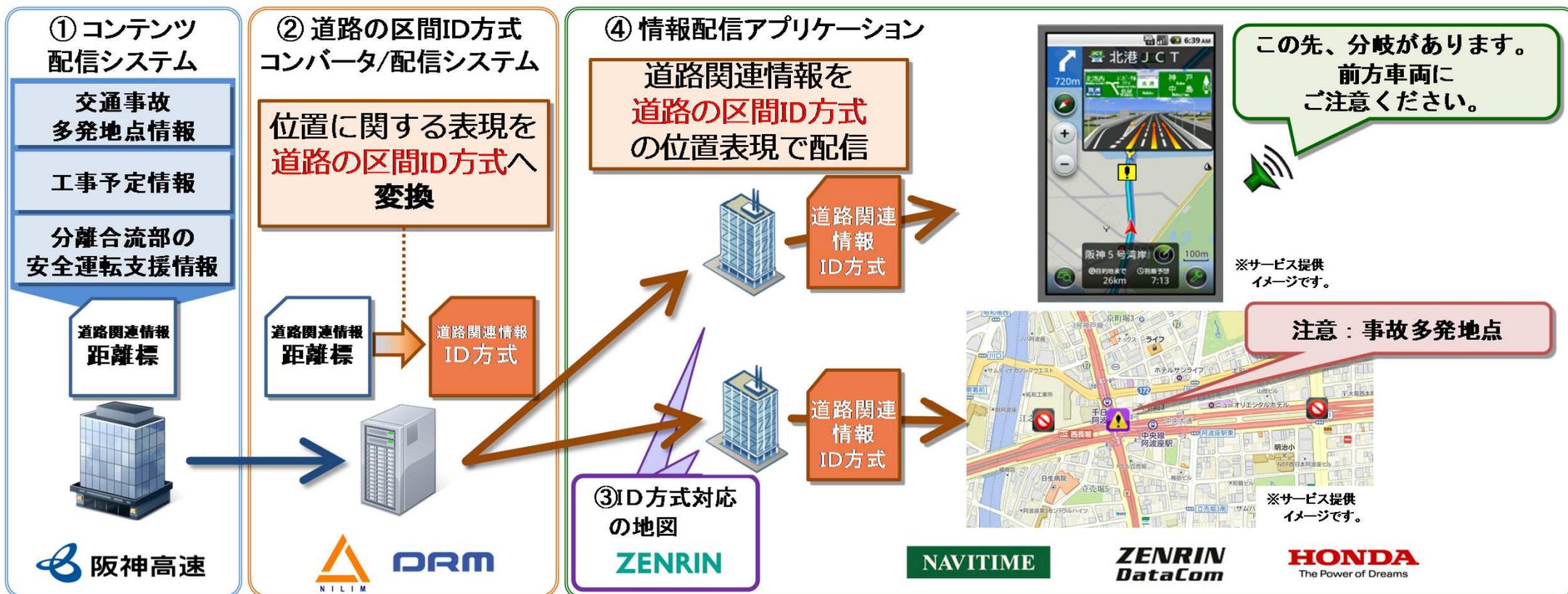


(※)国土技術政策総合研究所、日本デジタル道路地図協会、阪神高速道路の3社が発起者となり、本プロジェクト参加者を公募し、民間各社との実験実施体制を構築しました。

平成26年度の情報配信の仕組み

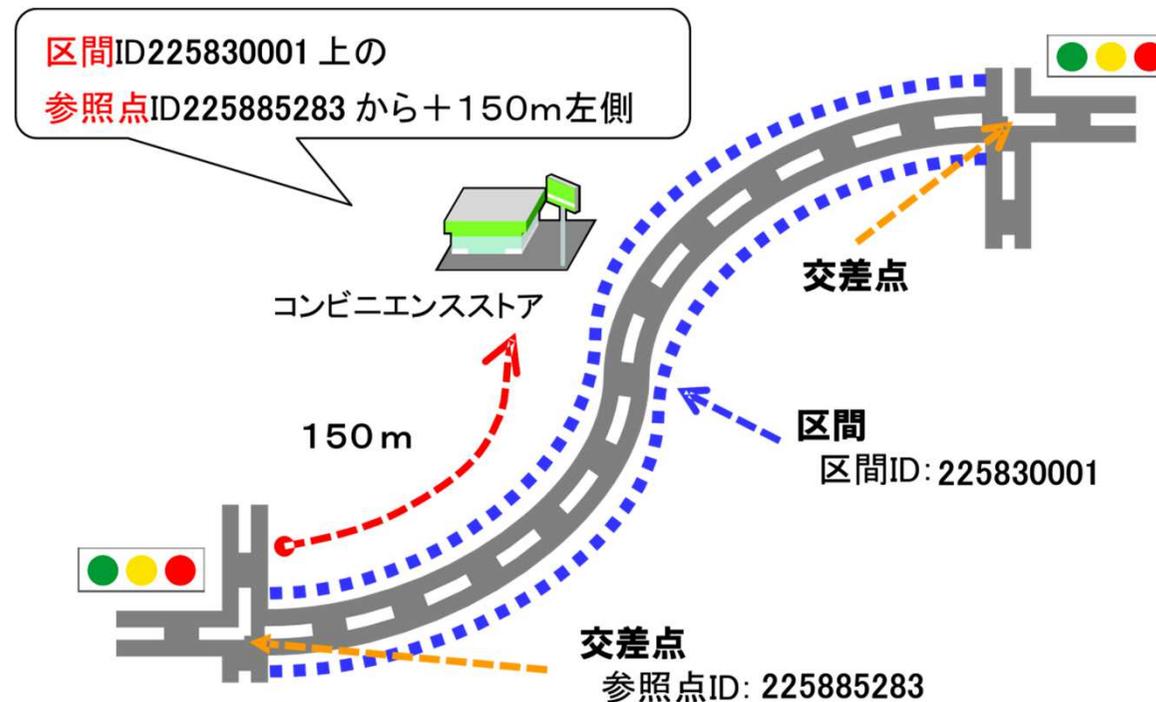


- ①コンテンツ配信システムより阪神高速保有の「交通事故多発地点情報」、「分合流部における安全運転に関する情報」および「工事予定情報」の3種類のコンテンツ(道路関連情報)が②に配信される。
- ②道路の区間ID方式コンバータ/配信システムにて、3種類の道路関連情報の位置に関する表現を距離標から道路の区間ID方式に変換し、④情報配信アプリケーションに配信される。
- ④情報配信アプリケーションとして、ナビタイムジャパン開発のスマートフォン向けのカーナビゲーションアプリケーションと、ゼンリンデータコム開発の特設Webサイトを通じて3種類の道路関連情報が道路利用者に配信される。
 なお、両社が使用している③ID方式対応の地図は、ゼンリンが提供している。

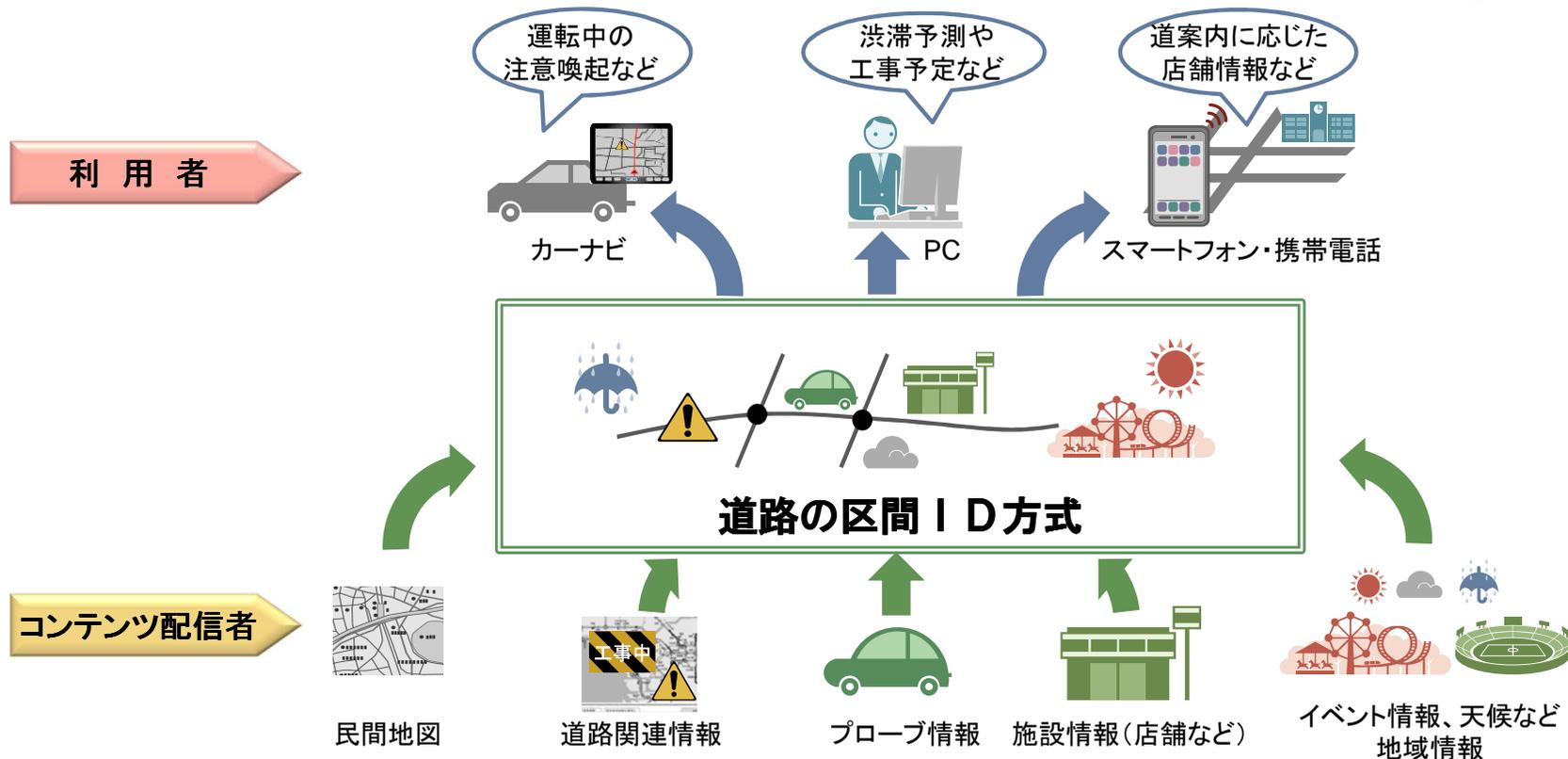


道路の区間ID方式とは

- 本実験は、阪神高速が保有する情報をナビタイムジャパン、ゼンリンデータコムが配信するサービスで使われている地図に表現するため「道路の区間ID方式」という位置表現方式を用いている。
- これまで位置情報のやりとりは、地図を介して経緯度などでやりとりをされていたが、送り手と受け手の地図が異なると、異なる位置を示す可能性があるなどの課題がある。
- 「道路の区間ID方式」は、“区間”と“参照点”を用いて、相対的に道路上の位置を特定する方法である。そのため、異なる地図間で正確に位置情報を表現することが可能である。
- 道路の区間ID方式の詳細は、こちら
<http://www.drm.jp/etc/roadsection.html>



道路の区間ID方式による表現イメージ



「道路の区間ID方式」の普及により期待される効果

- 道路の区間ID方式を導入することで、組織や分野横断的な情報流通が実現できる。
- 道路管理やITSの他にも、不動産、観光、電力、バス運行管理や消防などへ活用も考えられ、さまざまな情報を組み合わせたサービスの展開を実現できる共通基盤である。

阪神高速による事故多発地点情報の提供



- 阪神高速道路株式会社では、ドライバーの安全運転を支援する取り組みとして、「阪高SAFETYナビ」のサイトにより、事故多発地点情報を公開している。
- ドライバーの属性と事故の形態別に要注意地点を表示している。
- 各地点について、位置に関する詳細説明と拡大図、運転のポイントについて情報提供を行っている。
- 「阪高SAFETYナビ」のサイトは、こちら
⇒ <http://safetynavi.jp/map/index.html>



要注意地点情報のほかに、安全運転を支援するため、運転特性の診断するコンテンツ等を提供

ドライバーの属性を選択 要注意地点の提供画面全体のイメージ



ドライバーの属性に応じた要注意地点の表示イメージ

表示する事故の形態を選択



地点ごとの詳細情報の提供イメージ